

でしたが、諸般の事情により、すぐ諦めました。

その後、兄弟や親戚、幼馴染のいる大分県のうちで、妻の両親との同居を決めていたので実家のある大田村近辺を探していました。

そのうち義父より山香に格安の分譲地があると聞き、即決しました。ここなら実家の椎茸栽培も手伝えるところだったので。

後藤春美さん 半年前から両親と同居をはじめました。主人こそ感謝しております。

佐藤 ご養子さんになられたようなものですね(笑)。

大柳弘幸さん 大柳弘幸さんご夫妻は東京からの移住ですね。

大柳弘幸さん(以下「弘幸さん」) 浅草出身の生粋の江戸っ子です。教員をしていましたが、在職中から新潟県で地域ボランティアに取り組んでいました。退職後も新潟で住むつもりでしたが、新潟県中越地震(平成16年)で断念せざるを得ませんでした。

また、愛かハレころこ主



5月10日(木)、大柳邸にて収録。落ちついた佇まいに笑い声が終始響いた。

みたいという理由もあつたのですが、大田はちょっと寒いですね(笑)。

佐藤 杵築に決めたきっかけは？

弘幸さん 教員になる前に勤めていた会社の赴任先が別府市だったんですが、杵築に遊びにいったことがあったんですね。そのときに見た杵築城や町並みが気に入ってました。決定打は山本さんと同じ「ブチトマト」です。

大柳恵子さん(以下「恵子さん」)

私は対馬出身なんです。ここに移住する数年前、治療で別府市を訪れたことがあったんです。「別府」とか「杵築」とか名前の響きがいいですね。杵築移住を決定づけた、という訳です。

敬三さん 「きつき」という響きはいいけど、誰も読めないし、都会では知名度もない。だから、福岡の友人には「別府の郊外に住んでる」と言ってます(笑)。

佐藤 移住された理由やきつけられて、やはりそれぞれですね。様子がよく分りました。さて、実際に住んでみて、毎日の生活はいかがですか？

とにかく水がおいしい。米もおいしい。

恵子さん なんととっても水が美味しい。私の家庭では、里親として、親のいない、また都合で親と暮らせない子どもを4人預かっていますが、アトピー・性皮膚炎の子どもが我が家に来て1カ月で治ったくらいですから(一同驚く)。塩素のないお風呂、って田舎の魅力の一つではないでしょうか。

それにお米が美味しい。農産物や量の量もと比べて

少ないみたいだけど、それを地元の人が特別とは思っていないのが嬉しいですね。

敬三さん 山香米も美味しいですよ(一同笑い)。

昭義さん もともと農業経験はありませんでしたが、いまは、夫婦で野菜づくりを楽しんでいます。自家製の野菜、つて本当に美味しいですね。それに竹炭づくりにも取り組んでいます(竹炭製品を皆に披露する。ちなみに商品はふるさと産産館で販売)。

満子さん たまに行く東京旅行が息抜きですね。人ごみに紛れるとスカッとして元気が出ますね。

佐藤さん 山本さんご夫妻は三光坊地区で区長もお務めだそうですね。

昭義さん わずか26戸の小さな行政区ですが、縁あってお世話させて頂いております。老人クラブの事務局長は60歳代にしてすでに終りました(笑)。

佐藤 後藤さんご夫妻はいかがですか？

敬三さん 生活の糧はまったくありません(笑)。今は別府市でクラシックギターを習っています。自分の父が老人保健施設こ入所して